

あなたのためのよきおとずれ

イエスの招き

The Invitation of Jesus

Vol.454

September October 2020

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。
わたしがあなたがたを休ませてあげます。」イエス・キリスト



SENRI NEW TOWN
BAPTIST CHURCH

senrinewtown.com

千里ニュータウンバプテスト教会



■聖書メッセージ 「人を赦す」 小川 宗五郎

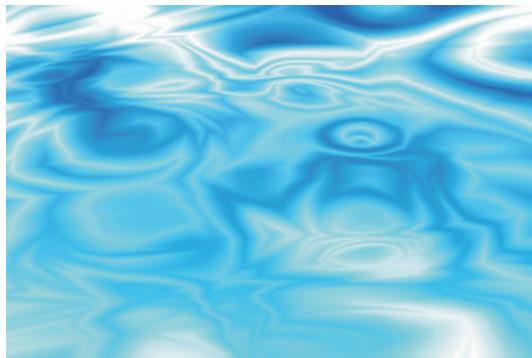
「人を赦す」

「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。
神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。」

エペソ人への手紙 4章32節



牧師 小川 宗五郎



私たち人間の間に、赦すということがなければ、この世は随分とげとげしい、住みにくい所になるのではないでしょうか。もし私たちの家庭が暗く、また乱れて、安らぎのない所になっているとすれば、それは赦すということが欠けているからではないでしょうか。

しかし、聖書は「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。」と言うのです。

神の赦し

そこでまず、神が私たちをどれ程、赦してくださったかを覚えたいと思います。聖書によれば、私たち人間は、神に対して大きな負債のある存在です。私たちは神に造られ、生かされている者として、神に感謝し、従うべき者です。ところが、そのことを忘れて、「神などいない。神に頼るのは、よほど弱い人か、悩みのある人のすること。」などと言しながら、のんきに暮らしている間に、どんどん神に対する借りは増えているのです。

ある統計学者によれば、世界で一分間に 100 人が死んでいるといわれています。考えてみれば、今的一分、次の一分に私たちがこの 100 人の中に入らないで生きることを許されていることは大きな恵みです。しかしその間に私たちは、神のために何をしたでしょうか。もし何もしていないのなら、私たちは、到底返すことの出来ない負債を神に負っていることになるのではないでしょうか。それにもかかわらず、神は私たちをキリストによってあがない、赦して下さったのです。

人を赦すことは難しいことです。しかし、神は、神に背いている私たちをご自分の御子であるキリストを十字架で犠牲にまでして、私たちを無条件に、永遠に赦して下さったのです。聖書を通して神はこう言われています。

「わたしは、あなたの背きを雲のように、あなたの罪をかすみのように消し去った。わたしに帰れ。わたしがあなたを贖つたからだ。」
イザヤ書 44章22節

神はキリストの十字架のあがないによって、私たちを一方的に、どこまでも赦して下さったのです。ですから「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。」と言われているのです。

私たちの赦し

では、赦すとは、本当の意味においてどういうことなのでしょうか。それは第一に、無条件にその人を受け入れてあげることではないでしょうか。

聖書のマタイの福音書の18章に、ペテロがキリストに「兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回赦すべきでしょうか。七回まででしょうか。」と質問すると、「七回を七十倍するまで」と答えられたことが記されています。これは、本当の赦しは、無条件のことであって、罪の回数を数えたり、限度を設けたりするものではないということでした。キリストによれば限度のある赦しは、本当の赦しではないのです。

また、聖書のルカの福音書15章にキリストによる有名な放蕩息子のたとえ話があります。父親に背き、父親の財産を湯水のように使い果たし、あわれな、変わり果てた姿で帰って来た息子。その息子を父親は見つけると、走り寄って抱きしめて受け入れた、という話です。

その父親は、息子が放蕩を悔い改めたので赦したのでしょうか。確かに息子は悔い改めたからこそ父親のもとに帰って来ました。しかしそれだから父親は息子を赦したのではありません。父親は息子が自分に背き、家を出て行った時から彼を赦していたのです。

神は、私たちの背きの罪のためにイエス・キリストを十字架につけ、その尊いあがないによって、私たちを無条件に赦し、受け入れてくださいました。ですから、私たちも、私たちに迷惑をかけたり、傷つけたりする人を赦し、受け入れてあげるべきではないでしょうか。それが、本当の意味で赦すことではないでしょうか。

第二に人を赦すとは、その人の過ちや罪を忘れててしまうことではないでしょうか。聖書を通して神はこう言われています。

「わたしは、もはや彼らの罪と不法を思い起こさない」ヘブル人への手紙 10章17節

神は私たちのすべての罪を、キリストのあがないによって赦して下さるだけでなく、それらをご自分の記憶から消し去って下さるのです。私たちは自分の罪を覚えていても、神は、忘れてくださいと言うのです。

一般的に親も子供を愛するが故に、その罪や過ちを赦して、また、忘れるのではないでしょうか。私は自分を振り返ると、親に赦されて成長してきたように思います。親だけでなく、多くの人に赦されて、今あるを得ていると思っています。一般的に私たちは、みな罪や過ちを犯す者ですから、それらを赦されなければ生きて行けないのではないかでしょうか。

「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。」エペソ人への手紙 4章32節

このように人を赦すとは、その人を無条件に愛して受け入れることであり、また、その人の過ちや罪を忘れててしまうことではないでしょうか。私たちの周りには、確かに私たちに迷惑をかけたり、悪口を言ったり、傷を受けたりする人々はおられます。そしてそういう人を赦すことは難しいことです。恐らく人を赦すことは私たちにとって最も難しい事かも知れません。しかし、神は、キリストを十字架で犠牲にして、私たちをどこまでも赦して下さいました。神は聖書でこう言われています。

「たとえ、あなたがたの罪が絆のように赤くても、雪のように白くなる。たとえ、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。」イザヤ書 1章18節

神がこの私を、キリストによって、このように赦して下さったことを心から理解すれば、私たちも人を赦すことができるのではないかでしょうか。そして、人を赦すことが出来れば、幸いな毎日を過ごすことが出来るのではないかでしょうか。キリストはこう言われました。

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです。」ヨハネの福音書 5章24節

ですから、私たちはこのキリストを信じることによって、罪から救われ、永遠のいのちを受け、いつまでも神と共に生きることが出来るのです。私たち人間は弱い存在ですが、キリストによって人生の恐れから解放される事ができるのです。

私たちの教会では、皆様のお越しをお待ちしております。どうぞお気軽にお越しください。



■定例集会

【日曜日】 早朝礼拝 AM 8:30~
日曜学校 AM10:00~
礼 拝 AM10:50~
夕 拝 PM 4:00~
【水曜日】 水曜集会 PM 7:00~

[※私たちの教会は、聖書を正しく学ぶキリスト教会です。]

- どの集会も無料です。聖書・聖歌は備え付けてあります。
- どの集会も乳幼児の託児があります。
- 英語・韓国語・手話の同時通訳があります。